

基幹労連シニアクラブ・ニュース

基幹労連退職者の会事務局

2014/08/26

第 12 号

シニアクラブ第 3 回総会を開催します

～ 10月23日(木)16時から静岡県熱海市にて ～

8月25日にシニアクラブ幹事会を開催し、第3回総会の開催要領および議案を審議しました。その結果、2014年10月23日(木)16時から、場所は静岡県熱海市で開催することを決定しました。同日、基幹労連の県本部事務局長会議が開催されることとなっており、シニアクラブの活動を支えていただく方々と一緒に、今後の活動方針を検討することとしました。

以下、開催要領と2015年の活動計画(案)を提起します。

《開催要領》

日 時 2014年10月23日(木)16時開会

場 所 熱海後楽園ホテル

議 題 2015年活動計画・予算他

構 成 基幹労連各県本部の退職者組織代表1名、
シニアクラブ役員

(まだ退職者組織が結成されていない県本部から各1名・オブザーバー資格)

費 用 交通費実費、宿泊費はシニアクラブで負担します。



第3回総会議案 2015年度活動計画(案)

1. はじめに

シニアクラブを結成して1年半が経過しました。

この間、組織を軌道に乗せるための諸活動、各県本部退職者組織との連携、シニアクラブニュースの発行、退職者連合の諸活動への対応など、基幹労連中央本部・県本部と連携し、事務局の応援を得ながら着実に活動を進めてきました。

前年度は、重点活動として「すべての県本部に退職者組織を設置する」ことをめざし、各県本部との連携を強化してきました。その結果、ほぼその目標を達成することができました。今年度は一層の連携強化をはかって、活動の充実をめざしていきます。

2. 組織運営

昨年まで基幹労連として各県本部の退職者組織の立ち上げと支援を目的にして、「県本部退職者連絡会」が開催されてきましたが、本年度の総会から、この役割を統合しながら、総会の中で一体的に運営します。したがって、本総会では、県本部退職者組織が結成できている組織からは代表者の参加を要請し、まだ結成できていない場合であっても、オブザーバー資格で参加し、発言

できるように運営面での工夫を行います。具体的には、すべての県本部から1名の代表参加を求めます。旅費はシニアクラブ負担とします。

幹事会、三役会の運営については、関東地区在住者で行う幹事連絡会、三役連絡会などを適宜配置しながら、機動的に行っていくこととします。

3. 各県本部の退職者組織との連携

一部の県本部で退職者組織の結成を本総会後に控えているところがありますが、基本的には本総会で、全県本部（組織対象者の少ない山梨県本部を除く）において退職者組織の結成を報告することができました。関係者のご努力に感謝します。

結成された県本部組織については、当該県本部と連携して、総会、幹事会などの開催、運営充実に努めることとします。また、全体として構成組織の拡大と活動・運営の充実をめざしていくこととします。

シニアクラブ本部としては、各県本部の退職者組織、活動の実態を把握しながら、必要に応じて、各県本部に出向くなど、組織、活動の充実を支援します。県本部の退職者組織の総会（または幹事会・役員会・研修会）には、要請に応じてシニアクラブ本部役員を派遣します。

4. 中央OB会(幹の会)との連携

2015年3月31日(火)に開催予定されている基幹労連中央OB会(幹の会)第3回総会には、シニアクラブ本部役員が参加するとともに、運営充実のための財政的支援を行います。また、各地方におけるOB親睦会の実施など「地域幹の会」としての活動の広がりを働きかけていきます。

5. 退職者連合への対応

老後を安心して暮らせる社会にするために、また、安心・信頼の社会保障制度を確立するために、全国の高齢・退職者の組織と連携した活動を展開していきます。

具体的には、

- ① 退職者連合中央の総会、諸会議・諸行動には関東地区在住のシニアクラブ本部役員を中心に中心に対応していきます。
- ② 2015全国高齢者集会(2015年9月15日開催)には、本部役員を中心に中心に対応しますが、2014年度と同様に、東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の各県本部退職者組織の代表にも参加を要請します。
- ③ 各県本部の退職者組織は、可能な限り各地方連合の高齢・退職者組織に加盟、参画して活動を行うこととし、まだ加盟の条件が整わない組織は、条件整備に努めます。
- ④ 退職者連合の「ふれあい情報」は県本部事務局を通じてメールで配信します。
- ⑤ 連合、退職者連合が行う「核兵器廃絶1000万署名」の取り組みに、基幹労連と連携して参加します。

6. 政策制度・政策実現活動への取り組み

政策制度・政策実現活動については、基幹労連の政策・制度要求との整合を取りながら、中央、地方での取り組みを進めます。テーマによっては、基幹労連シニアクラブとしての考え方を整理して、各県本部の退職者組織に徹底していくこととします。

7. 各種選挙への取り組み

地方自治体選挙、国政選挙に対して、各県本部の退職者組織の実態に即しながら、基幹労連と連携した取り組みを進めます。

基幹労連は、2016年7月に施行予定の第24回参議院議員選挙の「比例代表」に、組織内候補者として、前参議院議員の「とどろき利治」氏の擁立を決定しました。シニアクラブとしても「オール基幹労連」の一員として、選挙の完遂に向けた取り組みを行います。

8. シニアクラブニュースの発行

年6回程度の発行を予定します。

当面は、県本部事務局を通じたネット配信とします。県本部事務局は、退職者連合の「ふれあい情報」を含め、退職者組織役員や構成組織に情報が伝わるような支援活動を要請します。また、退職者組織役員や構成組織としてネットワークが接続できる場合は、シニアクラブから直接配信をします。

9. 財政

基幹労連の助成金によって運営し、当面は独自会費の徴収を見送ります。

宮城県本部に退職者組織が結成されました！



宮城県本部が8月23（土）に退職者の会設立総会を開催しました。これで基幹労連38県本部中33の県本部に退職者組織が結成されたこととなります。

当日は、構成組織役員OB、県本部役員などが出席し、シニアクラブから小栗事務局長が出席しました。今回設置された組織は、宮城県本部三役・幹事経験者で構成し、今後、基幹労連のシニアクラブとの連携を図っていくこととなります。なお、初代会長には元東北スチール労組出身の井上千一氏が就任しました。

山口県本部第2回退職者連絡会総会が開催されました

山口県本部退職者連絡会第2回総会が、8月23日（土）に会員や山口県本部役員などが出席し開催されました。基幹労連シニアクラブから宮園会長が出席しました。

今回の総会では山口県退職者連合の升野会長に高齢を取りまく課題や活動に関して特別講演を受け、今後の対応のあり方についても議論しました。



～ 核兵器廃絶 1000万署名に取り組みます ～

連合、退職者連合等の呼びかけに応じて、シニアクラブとしても署名活動に取り組みます。基幹労連と連携して取り組みますが、具体的にはシニアクラブ第3回総会において確認します。9月以降に取り組み要請をさせていただきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

1. 名 称 「核兵器廃絶 1000万署名」

2. 呼びかけ 連合、原水禁、核禁会議、退職者連合

＊ I T U C (国際労働組合総連合) が世界の働く仲間に署名の取り組みを呼び掛けています。

3. ねらい 2015年4月にニューヨークの国連本部で開催される核兵器不拡散条約(NPT)再検討会議に合わせて、核兵器廃絶を求める署名活動を行い、唯一の被爆国民として私たちの願いを日本政府と国連に届けるためです。

4. 期 間 2014年5月1日(木)～
2015年2月27日(金)

5. 提出先 国連および日本国政府

6. 取り組み シニアクラブとして、基幹労連と連携して組織的に取り組みます。基幹労連としては9月初旬の定期大会終了後に取り組みむとのことですので、シニアクラブとしても、同時期に取り組みむこととします。



核兵器廃絶1000万署名

No More HIROSHIMA! No More NAGASAKI! No More Nuclear Weapons!

ノーモア・ヒロシマ、ノーモア・ナガサキ、ノーモア・ヒロシマ。この訴えは、核兵器廃絶と恒久平和を願う我々日本人の心からの叫びです。しかし、核兵器は未だに世界に約17,300発も存在し、核兵器の脅威から今なお人類は解放されていません。核兵器不拡散条約(NPT)とは、核兵器の開発、製造、保有を規制し、核兵器保有国の増加を防ぐことを主な目的とした条約であり、核兵器の不拡散、核軍縮の促

進、原子力の平和利用の推進をめざしています。連合、原水禁、KAKKINは、5年に1度開催されるNPT再検討会議にあわせて、核兵器廃絶を求める署名活動を行い、世界で唯一の被爆国である私たちの願いを、日本政府と国連に届けます。核兵器廃絶と恒久平和の実現をめざして、「核兵器廃絶1000万署名」へのご協力をお願いします。

連合・原水禁・KAKKIN

「核兵器廃絶1000万署名」については
<http://www.jtuc-rengo.or.jp/>

連合

検索

基幹労連の第12回定期大会が開催されます

～ 建設連合と組織統合します ～

基幹労連は、2014年9月4日(木)～5日(金)に神戸ポートピアホールにおいて第12回定期大会を開催します。大会では「職場が原点 思いをひとつに 未来(あした)へ向けて」議論が交わされます。

今年の大会では、これまでの検討経過を踏まえ、建設連合との組織が決定されます。また、役員改選期にあたり、大会後に新たな役員体制がスタートします。中央本部、各県本部において、基幹労連シニアクラブ発足からお世話になった方々の多くが役員交代されます。これまでのご支援に感謝し、今後のご活躍をご祈念いたします。